

# 平成 29 年度第 1 回連携中枢都市圏ビジョン懇談会議事概要

日時：平成 29 年 11 月 10 日（金）午後 3 時～4 時 30 分

場所：鳥取市役所本庁舎 6 階第 1 会議室

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 委員長の選任

## 4 委員長あいさつ

《委員長》この懇談会は、鳥取市が平成 30 年 4 月に中核市に移行することに伴い目指すべき広域連携のあり方などについて意見を伺う会である。この圏域は、さまざまな結びつきがあり広域的な連携について、活発な意見交換をお願いする。

## 5 説明

連携中枢都市圏について【資料 1】《事務局》

## 6 議事

連携中枢都市圏連携事業について【資料 2】《事務局》

《委員》現在、既の実施している事業がある。83 番移住体験ツアー事業は既の実施している。今回は新規事業であげるのか。また、定住自立圏の事業も検討するのか。

《事務局》単独ではなく広域的に広げて効果を得るため掲載している。定住自立圏の事業も継続して取り組むのでご意見をいただきたい。

《委員》KPI の基準値は平成 27 年度の実績値で、目標が平成 30 年度における目標値と理解すればいいか。

《事務局》その通りである。

《委員》KPI の関連。42 番の事業では、実績よりも目標が下がっているがどうか。

《事務局》見込みとしてあげている。42 番の看護指導実習事業の目標値は確保したい数である。

《委員》若桜町は交通機関のアクセスが悪い。鳥取市に交通機関の支援を求める。ドクターカーの実現を求める。また高速バスについても検討していただきたい。

《事務局》74 番若桜鉄道に関連。定住自立圏でも実施しているが今後も強化して取り組む。ドクターカー・高速バスは引き続き、協議研究する。

《委員》79 番の婚活支援事業について。婚活支援は大切だが、それ以前に若者が集う場所の創出が大切。76 番・89 番の基準・目標ゼロの意味は。

《事務局》若者が集う場所は検討する。76 番は現在検討中である。89 番は来年以降検討。

《委員》11/26 浜坂道路が開通。豊岡が近くなる。鳥取も 30 分である。病人が鳥取にお世話になっている現状。快く病院サイドも受けていただいている。道路については整備が進み感謝している。

《委員》63 番森林セラピー。58 番鳥獣防止のサクにより景観が損なわれているのではないかと。一体となっていないので一体的に計画を策定してほしい。

《事務局》配慮する。

《委員》婚活事業が圏域に拡大され期待している。

- 《委員》70番のゆめぐりエクスプレス運行事業。KPIの目標値が下がっている。厳しい現状であるし県境を越えるので国の制度のハードルが高い。バックアップをお願いする。
- 《事務局》KPIについては、28年度3.5往復が2往復となり減である。現状維持としてあげている。
- 《委員》交通ネットワークは重要。全但バスの協力のもと強化したい。
- 《委員》路線バスは、1市5町のうち智頭町以外に関わっている。引き続き関係事業者、市町、国と連携を取り利用促進を図る。
- 《委員》農業は減退している。生産機関を維持することが難しい。担い手支援の育成・人材確保の受け入れをお願いしたい。
- 《事務局》人材育成確保を進めているところである。横連携の検討をしたい。
- 《委員》アの圏域全体の経済成長のけん引を関連して。起業・創業を支援している。事業承継が問題となっている。円滑な事業の引き継ぎを意識している。経営サポート事業指標のビジネス課題実例研究数とは何か。
- 《事務局》サポート体制どのような形がよいのか研究していく。
- 《委員》地域の基盤である企業を雇用する場が重要。新事業を創業。人口の流出の防止のため若者定住Iターン、Uターンの促進が必要。
- 《事務局》人口流出は1市5町の課題。各市町が総合戦略で事業に取り組んでいる。
- 《委員》目標値は30年とあるが、定住自立圏の計画では31年度までである。次回以降、31年度以降も示されるのか。
- 《事務局》現時点では30年度しか示していないが、本ビジョンは5年間の計画を掲載する。なお、定住自立圏は、連携中枢都市圏に移行したら廃止となる。
- 《委員》各市町との連携で新規としての財源は連携中枢都市で全て賄うのか。また、高齢者の運動会の施策はいかがか。
- 《事務局》財源については、中心市に交付税が多く交付される。この財源は圏域で活用されるもの。運動会は、担当のプロジェクトチームで検討する。
- 《委員》48番。マイノリティーの人へ支援・理解の講座の連携。49・50番の手話通訳者養成については、仕事として参加できる取組を求める。
- 《事務局》更なる理解を深めることとする。
- 《オブザーバー》交付金をもらううえで、KPIの目標よりも住民が良かったと目に見える形でたくさん事業を作っていくことが大切だと思う。状況を住民へ周知することが重要。
- 《事務局》連携事業案のパブリックコメントしていく。12/1シンポジウムで周知を図る。
- 《オブザーバー》連携中枢都市圏ビジョンの一案で本文は次回とするのか。関西事務所に人材を配置し企業訪問するならば、若桜、智頭、新温泉町も入るよう整理を求める。30番も若桜町が抜けている。
- 《オブザーバー》ジオパーク以外にも観光連携していく。山陰本線利用促進など連携していく
- 《オブザーバー》安心・安全して利用できるよう努めてほしい。ICTのインフラや防災など指導をいただきながら提供したい。
- 《委員》複合的な組み合わせが必要。例えば、ゆめぐりエクスプレスバス運行については、こたつバス、婚活デマンドバス、ハンドサイン交流バス等、複合的に検討してはどうか。
- 《事務局》意見として伺う。

7 その他 次回の懇談会は1月を予定。

8 閉会